

第3回木津川市生涯学習推進計画策定委員会報告書

開催日時 平成25年3月28日(木) 午後1時30分～3時25分
会 場 木津川市中央体育館 第1・第2会議室
出席者 前平委員長・高原副委員長・岩井委員・川口委員・市川委員・岡田委員・大西委員
(ワーキング委員) 松原副委員長・葛谷委員・川畑委員・福井委員・三上委員・花田委員・森本委員
(事務局) 森本理事・太田次長・松田課長補佐・秋元係長

開会挨拶(前平委員長)

皆さんこんにちは。第3回生涯学習推進計画策定委員会を開催させていただきます。今回は、フィールド調査の集計結果も出たということで大変楽しみにしています。41団体に調査をいただいたワーキング委員の皆さん、ありがとうございました。各団体の特徴的な活動がよくわかる内容となっています。本日は、ワーキング委員会での検討結果も踏まえてご意見をいただければと考えています。

議事1 フィールド調査の結果について

議事2 フィールド調査結果から見た課題と解決方法について

- ・事務局から調査集計結果とそれを受けてワーキング委員会で検討した課題と解決方法について報告を行った。

《質疑》

委 員 社会教育委員としてフィールド調査に回ったが、市内で様々な生涯学習活動が実施されていることがわかったし、これまでわからなかったことが見えてきた。

委員長 調査いただいたワーキング委員の方からご感想などあればお聞きしたいと思います。

ワ委員 話をうまく聞き出すのが難しかったです。でも各団体が積極的に協力していただいたのでスムーズに行うことができました。。

委員長 1団体どれくらいの時間かかりましたか？

ワ委員 約1時間です。

委 員 市民アンケート調査では、活動割合が男性49%、女性45%だったが、フィールド調査では圧倒的に女性であることがわかった。アンケートと違う面が出たのはフィールド調査の成果ではないか。

委員長 アンケートは取り組んでいない人も対象であったが、今回の調査は取り組んでいる人だけが対象だったので違う面が出たのでは。全国的

に見ても活動は女性中心で男性が圧倒的に少ない。また、課題として生涯学習の核となる施設がないと報告があったが、核となるのは社会教育施設だけではなく喫茶店であってもいい。

委 員 会社を引きずるということについては切り替えが必要では。退職したら自分なりにいろんな活動をしたいと思っけていても、なかなか実践できない。背中を押してもらえなくても、自分から一步を踏み出せるきっかけがあればと思う。

委 員 自分は30歳で団体を作ったので自分としては会社を引きずることもないし、本人の性格の問題もあるのでは。尻込みしてれば仲良くなれない。男性の場合飲み会がきっかけとなることが多い。大企業の重役であったとしても、団体や地域では関係ない。コミュニケーションが大切。

委 員 課題として上がっている内容は、公サ連としての悩みと同じもの。女性は興味のある団体に見学の申し込みをするなど積極的であるが、男性は手を引いてもらえないと参加できない現状。男性が気軽に参加できる方法を考えている。

委員長 高齢男性の引きこもりの問題は深刻かつ普遍的な課題である。高齢者といっても昔と違って随分若い。閉じこもるとどんどん世界が狭まっていく。計画策定の1つのキーワードになるだろう。

委 員 体育協会でも若い人が少ない。組織に入ると運動会のスタッフや施設の清掃活動などに参加するのを嫌がる。試合には人が集まるのにスタッフを出す際には1人も出られない状況。

委員長 若い世代は時間的な余裕がないということだけでなく、意識的な側面もあるのがわかった。スポーツは競技スポーツという面もあるが、楽しむという面もある。意識改革を図ることも考えないといけなない。

委 員 若い人の話が出たが、高齢者が積極的かというところでもない。発表会をする場合も準備や片付けには非協力的。すべてお膳立てをしてもらえば出ますという風潮がある。

委員長 参加と参画との違い、参画とは準備や片付けも含めた参加、自分たちで作り上げるという気持ちがないと成り立たない。世代に関わらず意識を変えてもらわないといけなない。

委 員 個人主義が主流になり、団体行動ができないなど、どこからこんなになったのか。昔は、先輩や周りの大人を見て育った。いるんなことをするのが当然という教育もあった。勉強だけでなく、もっといろんなことを学校教育で行う必要があるのでは。

委員長 モデルとなる大人や先輩がなくなりつつある。大人も子どもに対し

て叱れない。学校に大人は先生しかいない、いろんな大人が見えない子どもは世間が狭くなってしまう。

委員 私の希望であるが、計画の理念や目標を小中学校や高校でも共有できるものであってほしいと思っている。生涯学習と学校教育が結びつかないと進まない。

委員 先生の問題もある。先生が忙しい。先生が地元の歴史を知らないから子どもにも教えられない。先生がいろんなことに手を取られすぎ。先生の仕事量を減らすことが必要では。

委員 確かに学校現場は大変である。木津川市に新たに赴任される先生には木津川市の歴史を学んでもらっている。地元においても知らなかったという声もある。地域で支える学校教育推進事業などで、地域の人々に将棋や野菜づくりなど地道な活動に取り組んでいる。

委員長 並行して進められている教育振興基本計画にも生涯学習の視点をどんどん取り入れていただきたい。学社連携を進めていく必要がある。先生の負担軽減は難しい問題であるが必要なこと。先生自身が楽しんで学ぶということも必要。時間をとっていろんなご意見をお聞きしたので、素案作成のヒントにしていいただければと考えている。

議事3 生涯学習推進計画の構成について

- ・計画の構成について事務局から策定委員会に諮った。

《質疑》

委員長 計画案ができるまでの予定は。

事務局 構成について決定いただければ、ワーキング委員会で素案作成を行い、次回策定委員会に提案できればと考えています。次回は7月に開催予定です。

委員長 特にご意見がなければ、この提案に従い、作業を進めていただきます。次回まで3か月しかないなので、完全なものでなくてもいいので、大事な部分についてまとめていただければ。

議事4 生涯学習シンポジウムの開催について

- ・事務局から計画策定の機運を高めるため、生涯学習シンポジウムを策定委員会主催で開催することについて提案した。

《質疑》

委員長 計画策定のPR、広報活動と合わせ、盛り上げていくという意味も含めて開催してはどうかと私から提案したものです。パネリストは、人よりもどんな話をしていただけるかという視点で選ぶべきと考えています。木津

川市らしいローカルな知を生かしたい。

委 員 木津川市のことを話せる人でないといけないと思う。

委員長 若い人にパネリストをお願いして、若い人に参加してもらうという方法もある。本日欠席されているが、公募委員の金井委員にお話ししてもらうことはできませんか。

事務局 金井委員に打診させていただきます。

委 員 家庭教育の分野で話をしていただける方が必要では。親のあるべき姿、親がどう勉強していけばいいかなど。

委員長 ここで決定することは難しいので、ご意見を参考に今後調整していくということで了解いただけますか。日程や場所は決定できませんか。

事務局 土曜日がいいと思うので、6月22日か29日でどうでしょう。会場は、中央交流会館、山城総合文化センター、加茂文化センターの中から空き状況も確認した上で決定したいと思います。時間は午後からがいいかなと考えています。

委員長 最近では、パワーポイントを使って、団体活動内容の写真などを写しながら楽しい雰囲気で行うというケースもあるので検討してもらえませんか。

事務局 検討させていただきます。

その他 次回策定委員会の開催について

調整の結果、7月26日（金）に決定した。

閉会挨拶（前平委員長）

これからいよいよ本格的な策定に入っていきます。これからがスタートであり勝負です。意見交換をしながらよりよい計画を作っていきたいと考えていますので、今後よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。